

12月議会
議案

中央図書館大規模改修工事

総額17億6000万円



落札者・契約額・落札率は
以下の通りです。

	建築工事	電気設備工事	機械設備工事
落札者	浦安建設協同組合	サンワコムシス エンジニアリング 株式会社千葉支店	須賀・光特定建設工事 共同企業体
契約金額	10億1085万8400円	2億4375万6000円	5億633万6400円
落札率	91.80%	91.49%	91.77%



日本共産党浦安市
雇用・若者相談室長

かなや誠

建築工事費、電気設備工事費、機械設備工事費の合計額は約17億6000万円。入札は今年11月6日に一般競争入札で行われました。予定価格は事前公表、一方、最低制限価格は予定価格に対して91%代で設定され、事後公表となっています。



中央図書館の蔵書は75万冊、改修工事中は休館となるため62万冊は業者の外部倉庫で一時保管され、公民館内の7つの分館で貸し出しやレフアレンス機能を継続します。また、集合事務所1階に臨時窓口を設置し、返却本の受付や予約本の貸し出しなども行います。



市議会議員
元木美奈子
入船 4-37-14
☎ 047-355-8526
minamotonton@jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里
北栄 2-3-16-203
☎ 047-354-9269
m5mise@jcom.home.ne.jp

週刊 市議会報告

2018年12月10日

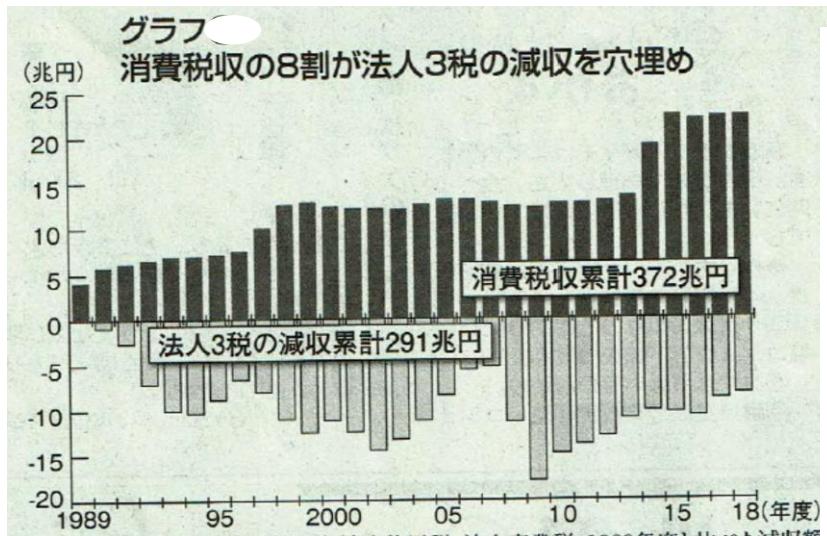
第1484号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎ & FAX
047-350-1243

11月30日、12月議会招集日に3件の追加議案が上程されました。
追加議案は、中央図書館の大規模改修に係る工事契約議案です。

消費税10%

12月議会意見書発議 中止させよう！



安倍政権は消費税率を2019年10月から引き上げることを狙っています。しかし、消費税は所得の少ない人ほど重くのしかかる悪税です。そのうえ、深刻な消費不況が続く中での増税は暮らしと経済をさらに落ち込ませ、貧困と格差を拡大します。

家計消費 25万円も減

14年4月、消費税率を8%に引き上げた後、家計消費が増税前の水準を上回ったことはありません。年間の家計消費は1世帯当たり約25年

方の借金は4倍に膨れ上がりました。消費税の導入とその後の増税で景気が悪化し、その上、大企業減税の大盤振る舞いをしたため税収が減つたことが響きました。この間の消費税収は372兆円、法人3税の税収は291兆円も減りました（左上グラフ）。大企業に税をかけた穴埋めに消費税が使われてきたというのが真実です。

大企業減税の穴埋め

食品などは軽減税率にすると書いていますが、8%に据え置くだけのことであり、消費落ち込みの「軽減」にならないことは明らかです。リポビタンDは医薬部外品なので10%、オロナミンCは清涼飲料なので8%，税率の区分はめちゃくちやです。小売店も客も大混乱は必至です。6万円の負担増、1世帯では約8万円の負担増となります。

1世帯8万円の負担増

安倍首相は消費に万全の対策をとると言っていますが、「対策」の中身はひどいものです。中小商店でカードを使って買い物をしたら期間限定でポイント還元するといいますが、カード払いを扱わない中小商店については大迷惑です。「プレミアム付き商品券」も検討していますが、「新たな消費を喚起しない」と政府も認めています。景気の落ち込みを心配して増税分を戻すくらいなら、増税そのものを止めるべきです。

中止こそ万全の対策

万円も減りました。

日本共産党は浦安市議会12月議会に「消費税10%への増税を中止するよう求める意見書」を発議するため、12月7日、各議員に意見書案文を配布し、共同提出と賛同を働きかけています。